

第3回上作延地区住居表示検討委員会 摘録

日時 令和4年1月24日（月）午後3時～午後3時55分
場所 高津区役所5階 第1会議室
出席者 上作延町会：浅田幾美（委員長）、水科宗一郎（副委員長）、金子貞視
上作延団地自治会：大滝登一（副委員長）
上作延公社住宅自治会：吉村直
上作延第1自治会：加々見元弘
不動ヶ丘共同住宅自治会：植木明、郷澄子（各委員、順不同）
事務局 戸籍住民サービス課：田中課長補佐、平山、萩本

新型コロナウイルス感染対策

- 会議前に手指消毒、検温を実施。
- 窓と扉を解放し、会場内の換気を実施。
- 事務局から開催にあたり、コロナウイルスの感染が急拡大している状況の中、検討委員会委員の総意で開催していること及び委員の安全を最優先に、会議時間をできるだけ短縮して議事進行をすることを説明。

【議題1】第2回検討委員会の内容の確認について（資料1）

- 事務局から前回の委員会の摘録案について、修正等がないかを確認後、承認された。

【議題2】上作延地区及び向ヶ丘地区の町界の取扱いについて（資料2）

- 事務局から、上作延地区及び向ヶ丘地区の町界の取扱いについて、資料2に基づき、小委員会での結論を説明し、報告した。

委員：資料2において、過去の検討経過が書いてあるが、もう少し詳しく書いたほうがよいのではないかと。

事務局：向ヶ丘については住居表示を行うと決めておらず、今回の検討内容は、上作延地区の町界を整理するにあたって、一部向ヶ丘の人を入れなくてはならないので、その区域を検討したものにはすぎないということです。過去の経過から、現在でもその地域の人には町名に対して愛着を持っているため、町界を動かすようなことはせず、現状のまま住居表示を実施する。今回の上作延の住居表示にあたっては変更しないということです。

委員：わかりました。第1回、第2回の検討委員会について記載しているのだから、そこでの問題点については一言触れた方がいいかと思った。そういう疑問で今言ったものである。

委員長：その問題は内在しているが、向ヶ丘という町名でそのまま来ているものであり、実際の住民にしてみれば、その前の議論はあまり意味をなさないのではないか。

その問題の内容について、いろいろな形で議論がされてきているということは言わなくてもいいかもしれない。

委員：今回は、上作延地区の住居表示を進めるための検討で、その理由と結論なので、そこにあえて向ヶ丘地区の過去の原因はこうでしたと入れるのも。今回の議論の流れの中では、とりあえず触れなくてもいいのでは、という気がする。

事務局：今回は、過去の向ヶ丘の詳しい検討経過が主眼ではないので、追記しないということで、町界線については案のとおりでよいでしょうか。

(委員全員承認。)

【議題3】新町名(案)について(資料3)

○上作延地区の新町名(案)資料3を参照しながら、新町名(案)を検討した。

事務局：何かまず質問等ありますか。

委員長：古い名前としては、町内会の支部名などを使ってはいるが、そういう名前もなくはないが、一番わかりやすいところは何丁目とつけるものではないか。

委員：向ヶ丘の住民と同じで、私たちも上作延について同じ気持ちだと思う。

「上作延」という地名に愛着がある1丁目～5丁目のように表すのがよいと思う。

上作延地区に居住している多くの方が上作延という町名をしっかりと認識されているので、それを改めて変えるのは。

住民の感覚的にも一番、理解してもらえないのではないかという気がする。

事務局：上作延も昔からある地名です。江戸時代に上作延と下作延に別れているらしく、作延の意味合いとしては、「作（サク）」というのが狭間を意味し、平瀬川が走っているところにその谷底低地を南北から丘陵地が挟むかたちで、延びているところから名前がついているとも考えられているようです。町名としてはこの地域の特性に由来してつけられているのではないのでしょうか。

小字については、北原、原間谷、南原となっています。

委員長：自分のところの南原は、かなり広い地域となっている。皆の感覚にしっくりくる町名が一番良いのではないか。

事務局：上作延南原を採用すると、宛名を書く時に長くて面倒とか、気にする方がいるかもしれません。

事務局：新町名案について、上作延に丁目を付ける案が出ていますが、他はどうでしょうか。

委員：隣の下作延が住居表示を実施して1丁目～7丁目に決まってしまっている。上下分かれたのだから上作延だけ変えるというのも。

委員：もちろん良い名前があればいいが、もう上作延で馴染んでいる。上作延何丁目であれば、それほど抵抗感はないと思う。

委員：以前に、上作延の「のべ」を取ってくれという意見もあったが、その「のべ」を取ってしまうと地名の意味合いが全くわからなくなる。

委員：上作で言いやすいは言いやすいけれど。

事務局：地域の皆様が1丁目から5丁目のほうが自然と受け入れられるという感覚をお持ちであれば、地域の住民の皆様も似たような感覚になるのではないのでしょうか。

事務局：それでは、上作延1～5丁目ということでよいのでしょうか。

(委員全員承認。)

○事務局から、丁目の付け方の基準について、基準点である JR 武蔵溝ノ口駅に一番近い地区、北東の区域（B 地区）が 1 丁目になる旨説明した。

事務局：丁目の数字の並びについては、いかがでしょうか。

委員：ぐると回ったつけ方が分かりやすい。

委員：その付け方のほうが、数字の並び方が分かりやすい。なので、理解しやすいのは、B、A、C、D、E 地区となりますかね。

委員：どのように丁目をつけても、気にならない。

委員：でも、せっかく住居表示をするのだから、並び方が分かりやすいほうが良いと思う。

事務局：ぐると回ったつけ方（連続性があるつけ方）がわかりやすくて良いという意見を承りました。

【議題 4】その他

○事務局から上作延地区の新町界・新町名（案）のお知らせ案について、内容を確認後、修正等があれば 1 月 31 日までに連絡するように依頼した。

○事務局から 2 月下旬に上作延地区へお知らせを配布する予定であることを説明した。

○次回の検討委員会の日程について、令和 4 年 3 月中旬に高津区役所で開催することを決定。